

2016年11月キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) ハバナ国際見本市の開催
- (2) マリエル開発特区の工場建設の進展
- (3) ホテル事業の進捗
- (4) 2016年上半期の観光収入の発表
- (5) 戦略的演習「バスティオン2016」の実施
- (6) フィデル・カストロ前国家評議会議長の逝去

2 外交

- (1) ベトナムとの財政当局間協力拡大
- (2) ロシアとの鉄道供給契約署名
- (3) クァン・ベトナム国家主席のキューバ訪問
- (4) トルドー・カナダ首相のキューバ訪問
- (5) 第34回キューバ・ベトナム政府間委員会の開催
- (6) 第2回日本・キューバ官民合同会議の開催

【本文】

1 内政

(1) ハバナ国際見本市の開催

10月31日から11月4日にかけて、ハバナ国際見本市が開催された。参加国は過去最多の73カ国。日本は、初めて単独のパビリオンを設置。

開会式（31日）に、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣他が出席。1日、投資フォーラムが初めて見本市の会場で行われ、2016年度版投資機会リストの発表もあった。

(2) マリエル開発特区の工場建設の進展

ハバナ国際見本市と時期を同じくして、マリエル開発特区の工場建設の進展が報じられた。1日、ブラジルとの合弁企業であるブラスクーバ社のたばこ工場の建設が開始された。2018年の操業開始を目指している。また、4日、オランダの大企業、ユニリーバが3,500万ドルの工費をもって、工場建設を開始した。

(3) ホテル事業の進捗状況

9日付外電によれば、サウメル観光省貿易課長は、2014年以降2年間でホテルの運営及び商業化のための契約を40件承認したと発表した。本年3月までの時点で、17の

管理契約を含む76の契約を結んでおり、キューバ国内の部屋数の60.5%を占める。また、観光省は、ゴルフ場つきのホテル建設のための中国やベルギーの企業との合弁企業の設立を認可した。

(4) 2016年上半期の観光収入の発表

10日、国家統計局(ONEI)は、2016年上半期(1月～6月)のキューバへの渡航者数は、2,147,912人(前年同期比11.8%増)で、観光収入は、12億ドル(前年同期比15%増)を超えたと発表した。国別では、カナダからの渡航者が最も多く約78万人。また、米国からは観光で渡航できないにもかかわらず13万7千人がキューバを訪れた。

(5) 戦略的演習「バステイオン2016」の実施

16日から18日にかけて、全国で国家防衛に係る戦略的演習である「バステイオン2016」が実施された。同演習は、様々な外敵からの敵対行動に対して、軍及び国民の対応能力を向上するための演習である。また、19日及び20日には、軍による実戦訓練が行われた。

(6) フィデル・カストロ前国家評議会議長の逝去

25日夜、フィデル・カストロ前国家評議会委議長の死去が公表された。全国で弔問・記帳が行われた。

29日にハバナにおいて故カストロ前国家評議会議長を追悼する集会が開催され、その後遺灰は、陸路でサンティアゴ・デ・クーバへ4日かけて移送し、最後に同地で集会が開催された。日本からは、29日の追悼集会(ハバナ)に古屋圭司・日キューバ友好議連会長が出席。

2 外交

(1) ベトナムとの財政当局間協力拡大

3日、キューバ財務価格省のミッションがベトナムを訪問し、両国間の財政当局間協力の拡大を確認した。マツス財務価格省執行局長は、ベトナムの財政効率化等に関する経験は、キューバの経済・財政システム近代化、現代化にとって重要なものであると評した。

(2) ロシアとの鉄道供給契約署名

9日、ロシアのTvervagonnostroitelny Zavod社とキューバのTradex社の間で、68輛の客車購入契約が締結された。ロドリゲス運輸次官のロシア訪問に合わせて署名が行われ、納入は1年以内に行うとされている。

(3) クアン・ベトナム国家主席のキューバ訪問

15日から17日まで、クアン・ベトナム国家主席がキューバを訪問した。15日午後、フィデル・カストロ前国家評議会議長と懇談し、二国間関係の他、気候変動、紛争、人口増、石油価格低下、食料生産力の向上等について意見交換した。また、同日、ラウル・カストロ国家評議会議長との間で首脳会談が行われた。16日には、国会議事堂に立ち寄るとともに、二国間経済フォーラムに出席した。共同宣言において、中期二国間経済アジェンダの重要性等について強調した。

(4) トルドー・カナダ首相のキューバ訪問

15日から16日まで、トルドー・カナダ首相がキューバを訪問した。15日、ディアスカネル国家評議会第一副議長が空港で出迎え、ラウル・カストロ国家評議会議長との間で首脳会談が開催された。その後、同首相は、ハバナ大学でも講演を行った。

(5) 第34回キューバ・ベトナム政府間委員会の開催

18日から23日にかけて、第34回キューバ・ベトナム政府間委員会が開催され、ハー・ベトナム建設大臣及びマルミエルカ外国貿易・外国投資大臣が共同議長となった。キューバ西部のサンタクルス及びサンホセにバス・トイレ器具、セラミック床材の生産のための合弁企業設立の覚書に署名したほか、Islazul.S.A とベトナムの Viglacera がキューバのホテル事業改善のための協力に向けた意図表明文書に署名した。腸チフスのワクチンに関する共同開発の文書にも署名した。

(6) 第2回日本・キューバ官民合同会議の開催

28日、東京に於いて、第2回日本・キューバ官民合同会議が開催された。菌浦外務副大臣とマルミエルカ外国貿易・外国投資大臣が代表を務めた。日本側から日本政府の経済関係強化に向けた方針の説明、民間企業によるキューバとのビジネス関係強化に向けた具体的な提案がなされ、キューバ側からは、経済社会開発計画の現状及び展望についての説明及び日本からの投資への期待が表明された。

3 要人往来

(1) 来訪

エメ・ブルンジ外相

アンドラデ・チリ下院議長

トルドー・カナダ首相

クアン・ベトナム国家主席

天野之弥 IAEA事務局長

ハー・ベトナム建設大臣

アル・マンサーリUAE経済大臣
オニール・パプア・ニューギニア首相
エルナンデス・ホンジュラス大統領

(2) 往訪

ロドリゲス外相の中東歴訪（カタール，UAE）